

文化や言語の「壁」？

国内で急増する、**外国につながる子供たち**。
学校生活の中で、言語や文化の見えない「壁」を感じて苦しんでいるかもしれません。

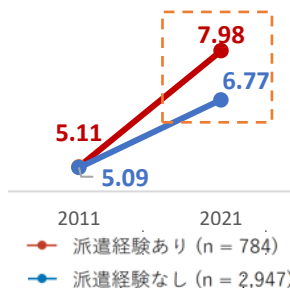


「壁」を越える先生？

海外の日本人学校での指導経験があると、多文化・多言語環境下での指導力が伸びるというエビデンスがあります。

[児童生徒の文化的な多様性に適応させた指導をする能力がある]

・教師本人へのアンケート



・学校管理職へのアンケート



- 派遣経験がある教師、派遣経験がない教師に対して、設問についての自己認識を10段階[1(あてはまらない)~10(あてはまる)]で、現在(2021年度)と10年前(2011年度)の状況を調査したもの。
- 10年前と現在の回答の差分は**1%水準で統計的に有意**であることが示された。
- 学校管理職に対し、現在勤務する学校に所属する派遣経験がある教師について、派遣経験のない同年代の教師と比較してどの程度あてはまるか尋ねた結果を集計したもの。

出典：「在外教育施設に派遣された教師に係る派遣効果に関する調査・分析」
※ 文部科学省と総務省が共同で実施。委託先は三菱UFJリサーチ&コンサルティング

★ 日本人学校へ先生を派遣しませんか？

文部科学省では、**海外の日本人学校等に通う約3万人の子供たちの国内と同等の学びを保障**するため、**国内の先生を海外に派遣しています**（原則2年、家族同伴可）。
海外での多様なニーズに応える教育実践などの、国内では得がたい経験は、指導力の向上につながります。



★ 先生も感じたことあるよ「壁」



派遣を経験した先生の声

海外で、**母語でない環境で学ぶことがいかに大変か体感**した。

帰国後は、**日本で頑張っている外国につながりのある子供たちを理解**できるようになった。

文化や言語の「壁」を越える先生
一緒に増やしませんか？

詳細は文部科学省
ホームページへ
「在外教育施設派遣教員」

